



平成 25 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 ハマキョウレックス
代 表 者 の 代 表 取 締 役
役 職 氏 名 社 長 大 須 賀 秀 徳
(コ ー ド 番 号 9 0 3 7 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 執 行 役 員 山 崎 裕 康
管 理 本 部 長
(T E L . 0 5 3 - 4 4 4 - 0 0 5 4)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 7 月 26 日付の「当社元従業員による不正行為に係る調査結果について」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 23 年 7 月 28 日に発表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大須賀 正孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 日比野 稔

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	22,373	9.1	1,609	9.9	1,605	6.9	828	18.6
23年3月期第1四半期	20,516	8.5	1,463	26.1	1,501	31.2	698	37.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 903百万円 (22.6%) 23年3月期第1四半期 736百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	99.18	—
23年3月期第1四半期	83.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	85,772		25,528			25.6
23年3月期	85,283		24,826			25.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 21,999百万円 23年3月期 21,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	5.9	2,962	0.2	2,900	△8.7	1,400	△6.6	167.60
通期	90,000	5.2	6,400	10.4	6,350	5.0	3,200	12.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	8,356,000 株	23年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,602 株	23年3月期	2,582 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	8,353,401 株	23年3月期1Q	8,353,517 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災により企業活動の停滞、消費自粛の風潮など、大きな打撃を受けました。その後、自粛ムードが薄れ、節電・暑さ対策などにより一部に回復の動きが見られますが、依然として国内景気・雇用の先行き不安を背景に予断を許さない状況であります。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復しつつありますが、原油価格の高騰など引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期は、営業収益223億73百万円（前年同期比9.1%増）、経常利益16億5百万円（同6.9%増）、四半期純利益8億28百万円（同18.6%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期の営業収益は106億13百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は14億15百万円（同9.7%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、5社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた10社の内7社稼働しております。残りの3社につきましては、7月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加により、67センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期の営業収益は117億60百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は1億93百万円（同11.6%増）となりました。営業収益増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、近物レックス㈱の増収によるものであります。

近物レックス㈱の状況におきましては、原油価格高騰の影響により、燃料費が前年同期比75百万円増加いたしました。営業収益の増加等により同社の営業利益は、前年同期比57百万円増加しております。今後の同社の取組みといたしましては、平成23年7月より、輸送幹線便の改正を実施し、28便の幹線便を圧縮しております。これにより月額約20百万円のコスト削減を図ってまいります。

近物レックス㈱と当社における取引につきましては、当第1四半期において、全ての月で目標である1億円を達成しております。今後も毎月の取引額1億円を目標に取組みを継続してまいります。

東日本大震災により被災した近物レックス㈱の店所は既に復旧し、全店所の業務を再開しております。引き続き、東北エリアの復旧に全力で取組み、同業他社に負けない、強いエリア作りを進めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4億88百万円増加し857億72百万円となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が1億65百万円、受取手形及び売掛金が4億71百万円それぞれ増加し、有形固定資産が1億79百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2億12百万円減少し、602億43百万円となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び営業未払金が2億5百万円、その他流動負債が6億39百万円それぞれ増加し、短期及び長期借入金が2億92百万円、未払法人税等が6億31百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比7億1百万円増加し、255億28百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億28百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の25.0%から25.6%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原油価格高騰への懸念や国内景気の低迷など、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業（3PL事業）を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円（前年同期比5.2%増）、連結経常利益は63億5千万円（同5.0%増）、連結当期純利益は32億円（同12.8%増）を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約36百万円の影響となります。また借入金利の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,249,118
受取手形及び売掛金	10,926,016	11,397,804
商品	9,121	9,755
貯蔵品	170,555	156,290
その他	1,292,357	1,315,966
貸倒引当金	△42,779	△42,956
流動資産合計	16,438,596	17,085,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,732,053
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	3,655,433
有形固定資産合計	63,017,808	62,837,811
無形固定資産	2,024,507	1,997,488
投資その他の資産	3,802,315	3,850,761
固定資産合計	68,844,632	68,686,061
資産合計	85,283,228	85,772,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,066,096
短期借入金	28,149,857	27,975,033
未払法人税等	1,338,184	707,131
賞与引当金	589,294	524,090
役員賞与引当金	47,926	15,251
その他	3,940,553	4,579,622
流動負債合計	39,926,881	39,867,226
固定負債		
長期借入金	10,676,012	10,558,695
退職給付引当金	5,135,237	5,136,202
役員退職慰労引当金	359,940	343,195
その他	4,358,580	4,338,669
固定負債合計	20,529,770	20,376,762
負債合計	60,456,651	60,243,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,392,372	14,062,126
自己株式	△7,698	△7,744
株主資本合計	21,381,129	22,050,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△51,397
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△51,397
少数株主持分	3,491,776	3,528,612
純資産合計	24,826,577	25,528,052
負債純資産合計	85,283,228	85,772,041

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	20,516,479	22,373,624
営業原価	18,497,459	20,213,501
営業総利益	2,019,019	2,160,123
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4,477	—
役員報酬	118,271	116,441
給料及び手当	136,684	139,616
賞与引当金繰入額	17,217	20,101
役員賞与引当金繰入額	11,976	12,951
退職給付費用	7,374	7,156
役員退職慰労引当金繰入額	9,335	9,090
その他	249,950	245,661
販売費及び一般管理費合計	555,288	551,018
営業利益	1,463,731	1,609,105
営業外収益		
受取利息	515	267
受取配当金	16,130	20,933
負ののれん償却額	50,764	50,764
助成金収入	62,223	14,160
雑収入	84,740	61,347
営業外収益合計	214,374	147,473
営業外費用		
支払利息	130,997	109,209
雑損失	45,363	41,579
営業外費用合計	176,360	150,789
経常利益	1,501,745	1,605,789
特別損失		
投資有価証券評価損	44,533	6,952
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
災害による損失	—	4,004
特別損失合計	163,574	10,956
税金等調整前四半期純利益	1,338,171	1,594,832
法人税、住民税及び事業税	612,295	646,495
法人税等調整額	△25,518	39,142
法人税等合計	586,777	685,637
少数株主損益調整前四半期純利益	751,393	909,195
少数株主利益	52,882	80,726
四半期純利益	698,511	828,468
少数株主利益	52,882	80,726
少数株主損益調整前四半期純利益	751,393	909,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,567	△5,828
その他の包括利益合計	△14,567	△5,828
四半期包括利益	736,826	903,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,264	823,400
少数株主に係る四半期包括利益	47,562	79,966

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業利益	9,835,305	10,681,174	20,516,479	—	20,516,479
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	30,264	390,695	420,959	△420,959	—
計	9,865,569	11,071,869	20,937,439	△420,959	20,516,479
セグメント利益	1,290,248	173,063	1,463,311	420	1,463,731

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業利益	10,613,053	11,760,571	22,373,624	—	22,373,624
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	118,655	425,964	544,619	△544,619	—
計	10,731,708	12,186,535	22,918,244	△544,619	22,373,624
セグメント利益	1,415,194	193,058	1,608,252	852	1,609,105

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません

[訂正後]



平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 28 日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 山崎 裕康 TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	22,333	9.2	1,568	12.2	1,565	9.0	804	36.1
23 年 3 月期第 1 四半期	20,450	8.2	1,397	20.4	1,435	25.4	591	16.2

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 1 四半期 878 百万円 (39.7%) 23 年 3 月期第 1 四半期 629 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 1 四半期	96.26	—
23 年 3 月期第 1 四半期	70.75	—

(2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	85,474	25,230	25.4
23 年 3 月期	85,010	24,553	24.8

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 1 四半期 21,702 百万円 23 年 3 月期 21,061 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24 年 3 月期	—	—	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	44,000	6.3	2,962	6.7	2,900	△3.3	1,400	5.9	167.60
通期	90,000	5.6	6,400	17.3	6,350	11.3	3,200	24.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	8,356,000株	23年3月期	8,356,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,602株	23年3月期	2,582株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	8,353,401株	23年3月期1Q	8,353,517株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災により企業活動の停滞、消費自粛の風潮など、大きな打撃を受けました。その後、自粛ムードが薄れ、節電・暑さ対策などにより一部に回復の動きが見られますが、依然として国内景気・雇用の先行き不安を背景に予断を許さない状況であります。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復しつつありますが、原油価格の高騰など引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期は、営業収益223億33百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益15億65百万円（同9.0%増）、四半期純利益8億4百万円（同36.1%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期の営業収益は105億72百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は13億74百万円（同12.3%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、5社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた10社の内7社稼働しております。残りの3社につきましては、7月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加により、67センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期の営業収益は117億60百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は1億93百万円（同11.6%増）となりました。営業収益増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、近物レックス㈱の増収によるものであります。

近物レックス㈱の状況におきましては、原油価格高騰の影響により、燃料費が前年同期比75百万円増加いたしました。営業収益の増加等により同社の営業利益は、前年同期比57百万円増加しております。今後の同社の取組みといたしましては、平成23年7月より、輸送幹線便の改正を実施し、28便の幹線便を圧縮しております。これにより月額約20百万円のコスト削減を図ってまいります。

近物レックス㈱と当社における取引につきましては、当第1四半期において、全ての月で目標である1億円を達成しております。今後も毎月の取引額1億円を目標に取組みを継続してまいります。

東日本大震災により被災した近物レックス㈱の店所は既に復旧し、全店所の業務を再開しております。引き続き、東北エリアの復旧に全力で取組み、同業他社に負けない、強いエリア作りを進めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4億64百万円増加し854億74百万円となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が1億65百万円、受取手形及び売掛金が4億29百万円それぞれ増加し、有形固定資産が1億79百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2億12百万円減少し、602億43百万円となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び営業未払金が2億5百万円、その他流動負債が6億39百万円それぞれ増加し、短期及び長期借入金が2億92百万円、未払法人税等が6億31百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比6億77百万円増加し、252億30百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億4百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.8%から25.4%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原油価格高騰への懸念や国内景気の低迷など、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業（3PL事業）を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円（前年同期比5.6%増）、連結経常利益は63億5千万円（同11.3%増）、連結当期純利益は32億円（同24.8%増）を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約36百万円の影響となります。また借入金利の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,249,118
受取手形及び売掛金	10,450,568	10,879,900
商品	9,121	9,755
貯蔵品	170,555	156,290
その他	1,494,943	1,536,638
貸倒引当金	△42,779	△42,956
流動資産合計	16,165,734	16,788,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,732,053
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	3,655,433
有形固定資産合計	63,017,808	62,837,811
無形固定資産	2,024,507	1,997,488
投資その他の資産	3,802,315	3,850,761
固定資産合計	68,844,632	68,686,061
資産合計	85,010,366	85,474,810
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,066,096
短期借入金	28,149,857	27,975,033
未払法人税等	1,338,184	707,131
賞与引当金	589,294	524,090
役員賞与引当金	47,926	15,251
その他	3,940,553	4,579,622
流動負債合計	39,926,881	39,867,226
固定負債		
長期借入金	10,676,012	10,558,695
退職給付引当金	5,135,237	5,136,202
役員退職慰労引当金	359,940	343,195
その他	4,358,580	4,338,669
固定負債合計	20,529,770	20,376,762
負債合計	60,456,651	60,243,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,119,510	13,764,895
自己株式	△7,698	△7,744
株主資本合計	21,108,267	21,753,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△51,397
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△51,397
少数株主持分	3,491,776	3,528,612
純資産合計	24,553,715	25,230,821
負債純資産合計	85,010,366	85,474,810

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	20,450,320	22,333,191
営業原価	18,496,150	20,212,194
営業総利益	1,954,169	2,120,996
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	5,787	—
役員報酬	118,271	116,441
給料及び手当	136,684	139,616
賞与引当金繰入額	17,217	20,101
役員賞与引当金繰入額	11,976	12,951
退職給付費用	7,374	7,156
役員退職慰労引当金繰入額	9,335	9,090
その他	249,950	246,967
販売費及び一般管理費合計	556,597	552,324
営業利益	1,397,571	1,568,672
営業外収益		
受取利息	515	267
受取配当金	16,130	20,933
負ののれん償却額	50,764	50,764
助成金収入	62,223	14,160
雑収入	84,740	61,347
営業外収益合計	214,374	147,473
営業外費用		
支払利息	130,997	109,209
雑損失	45,363	41,579
営業外費用合計	176,360	150,789
経常利益	1,435,586	1,565,356
特別損失		
投資有価証券評価損	44,533	6,952
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
災害による損失	—	4,004
過年度不正関連損失	112,229	—
特別損失合計	275,804	10,956
税金等調整前四半期純利益	1,159,782	1,554,399
法人税、住民税及び事業税	612,295	646,495
法人税等調整額	△96,410	23,078
法人税等合計	515,885	669,573
少数株主損益調整前四半期純利益	643,896	884,826
少数株主利益	52,882	80,726
四半期純利益	591,013	804,099
少数株主利益	52,882	80,726
少数株主損益調整前四半期純利益	643,896	884,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,567	△5,828
その他の包括利益合計	△14,567	△5,828
四半期包括利益	629,329	878,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581,766	799,031
少数株主に係る四半期包括利益	47,562	79,966

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,769,145	10,681,174	20,450,320	—	20,450,320
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	30,264	390,695	420,959	△420,959	—
計	9,799,410	11,071,869	20,871,279	△420,959	20,450,320
セグメント利益	1,224,088	173,063	1,397,151	420	1,397,571

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,572,619	11,760,571	22,333,191	—	22,333,191
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	118,655	425,964	544,619	△544,619	—
計	10,691,274	12,186,535	22,877,810	△544,619	22,333,191
セグメント利益	1,374,760	193,058	1,567,819	852	1,568,672

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません